

「2021年の新年を迎えて」



日本複合・防音床材工業会会長
大建工業株式会社
内装材事業部事業部長 金田 正樹



明けましておめでとうございます。

旧年中は、当工業会活動に多大なるご支援・ご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も引き続き、よろしく願い申し上げます。

まずは昨年初頭に発生した新型コロナウイルス感染症により、お亡くなりになられた方々に哀悼の意を表すると共に、感染され闘病中の方々やそのご家族に対して、心よりお見舞いを申し上げます。

昨年6月の定時総会にて海堀前会長からバトンタッチして当工業会の会長を務めさせていただいた初年度、ひとことと言うと新型コロナウイルスの感染拡大によって世界中が翻弄させられた一年であったかと思えます。

さて、改めて私どもを取り巻く環境をみてみますと、コロナ禍で働き方や価値観にも変化が出てきており、「テレワーク」や「オンライン」、「巣ごもり」、「ニューノーマル」といった言葉が会話の中で聞かれるようになり、急速に人々の暮らし方も変わってきたように感じます。

また消費税率引き上げ後の国内住宅市場につきましては、新設着工戸数の反動減や新型コロナウイルス感染症拡大による実体経済の悪化や雇用の悪化により、一層不透明感が強まって将来が全く読めない状況にあります。

そのような状況下、昨年の会長就任以来、工業会の各委員会はコロナ禍で十分な活動が出来ない状況ではありますが、昨年の活動を少し振り返ってみたいと思います。

まずは会長就任の挨拶でもお話をさせていただきました、複合フローリングの国産材基材比率50%達成に向けて、オール国産材基材による床暖房対応複合フローリングの技術開発を達成することです。

前年度に引き続き林野庁の補助事業を活用し、技術委員会・床

暖房プロジェクトチームを中心に着々と技術開発を進めてまいりました。

その結果、各社のご協力のもと、技術的な課題を達成し、補助金事業に対して所定の成果を出せる目処が立ちつつあります。

市場環境の影響もあるとは思いますが、国産材合板を用いた複合フローリング比率も直近で34%となり、林野庁が目標としている国産材使用率50%達成に向けて引き続き皆様方のご協力をお願いすると共に、国産材活用を通じてサステナブル社会の実現に貢献したいと考えております。

広報委員会では、これまで「フローリング・ナビ」を通じて、エンドユーザー（最終消費者）向けにフローリングの種類と選び方、お手入れ方法などを分かりやすく掲載し、情報発信をまいりました。

今年度中には、「床暖房のメリットとおすすめフローリング」のコンテンツを新たに追加し、エンドユーザーへ「床暖房」及び会員皆様の「おすすめ床暖房対応複合フローリング」を訴求していきます。

資材流通委員会は、4月にANA機体工場見学を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大によって見学会は中止になり、以降、感染予防のために委員会も開催することが出来ませんでした。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症拡大で制約がある中、会員各社の皆様には工業会活動にご理解をいただき感謝申し上げます。

このような環境下、会員各社・関係工業会・省庁を結ぶ当工業会の役割は一層重要となり、業界・団体のさらなる発展に貢献してまいり所存でございます。

本年も変わらぬお引き立てをお願い申し上げますと共に、皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。